

# 第76回岩手県高等学校総合体育大会実施要項

## (7) ソフトテニス競技

### 1 期 日

- (1) 前日準備 令和6年5月30日(木)  
(2) 競技 1部 令和6年5月31日(金)～6月2日(日)  
2部 令和6年6月2日(日)  
(3) 開会式 1部(個人戦) 令和6年5月31日(金)8:45～(受付8:00～8:30)  
(団体戦) 令和6年6月1日(土)9:05～(受付8:00～8:30)  
2部 令和6年6月2日(日) 1部団体戦3回戦終了後

### 2 会 場

和賀川グリーンパークテニスコート [TEL 090-1063-2318]

### 3 競技種別

- (1) 1部 個人戦・団体戦 共に男女別  
(2) 2部 個人戦・団体戦 共に男女別

### 4 競技規則

最新版日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準じ、マッチは全て7ゲームとする。

### 5 参加資格

- (1) 岩手県高等学校体育連盟加盟校であること。  
(2) 日本ソフトテニス連盟登録者であること。  
(3) 団体戦は部員数不足による合同チームの参加を認めるが、上位大会には出場できない。  
(4) 個人戦は地区予選を通過若しくは出場推薦を受けたペアであること。

### 6 競技方法

- (1) 団体戦
- ・3ペアによる点取り対抗戦とし、トーナメント方式で行う。
  - ・登録選手でのペアリング、出場順序は試合の都度、変更して差し支えない。
  - ・登録選手と監督の変更は、6月1日(土)の受付時間内に限り認める。(2部については、受付の時点で認める)
  - ・合同チームで出場する場合は、4月22日(月)までに所定の様式で専門部へ申請すること。
  - ・2ペアで出場する場合は、5月29日(水)までに地区責任者を通して専門委員長まで申し出る
  - こと。
  - ・監督は1日ごとに変更することはできない。
  - ・1校1チーム監督1名、選手4名以上8名以内であること。
- (2) 個人戦
- ・トーナメント方式で行う。
  - ・選手変更は、正規の手続きに限り認める。
- (3) 詳細は専門部運営要項によることとする。

### 7 地区予選

1部男女個人戦について実施する。(団体戦はフルエントリーとする。)

#### (1) 地区予選会通過数

地区	県北	盛岡	花巻	北奥	県南	釜気	宮古	推薦	計
男子	10	27	12	14	14	8	5	4	94
女子	14	22	10	13	12	13	6	4	94

(2) 令和5年度県新人大会の個人戦でのベスト4進出ペアは推薦出場とする。

[推薦ペア]

男子 津田 聖弥・藤井 李成（一関学院） 吉田 蓮・城内 純那（盛岡工）  
山内 蒼良・佐々木 柊羽（一関学院） 佐藤 悠・梶谷 凌雅（黒沢尻工）

女子 鈴木 詩乃・柴田 望有（一関学院） 中村 結・小山田 亜希（一関学院）  
田中 もも・大吹 風（盛岡三） 渡邊 夏姫・中村 由愛（水沢）

## 8 2部について

- (1) 団体戦・個人戦ともにブロック予選は行わない。
- (2) 個人戦参加ペア数の制限は行わない。

## 9 参加料

団体戦1校 6,000円、個人戦1ペア 600円 受付時に支払うこと。

## 10 参加申し込み・連絡責任者

安 藤 綾 二（久慈東高等学校）〒028-0021 久慈市門前 36-10

TEL：0194-53-4489 / FAX：0194-53-2540

\*参加申込は専門部ホームページの申込フォームから1部においては各校顧問が、2部においては（定通制）強化委員が一括して4月30日（火）13:00までに行うこと。

\*地区責任者は通過一覧表も予選終了後直ちに、担当者 平佳幸（水沢商業）へ報告すること。

## 11 その他

- (1) 使用球は、団体戦をケンコー、個人戦アカエムとする。
- (2) 配付するプログラム「競技上の注意事項」を確認の上参加すること。
- (3) 個人戦のブロック予選の方法は、地区に一任する。
- (4) 選手の背中に規定のゼッケンを付けること。
- (5) ベンチ入り指導者（外部指導者）を申請する場合は、専門部の様式を使用して大会当日の受付終了までに手続きすること。
- (6) ユニフォームの着用については、日本連盟の規定に従うこと。アンダーウェアは単色無地のものに限る。体調や体質の関係で規定に反する服装をしなくてはならない場合は、専門部の様式を使用して大会当日の受付終了までに手続きすること。
- (7) 審判従事の際には必ず公認ワッペンを着用すること。
- (8) 入賞者の写真等をソフトテニス専門部HP・上位大会プログラム等へ使用する予定である。
- (9) 盛岡から一関に所在する学校は可能な限り宿泊しないこととするが、生徒の居住地等を勘案のうえ、出場校で責任を持って決定すること。
- (10) 日本ソフトテニス連盟が提唱している、「グッドマナー」を出場選手、監督、ベンチ入り指導者、その他関係者が積極的に推進し、気持ちのよい大会となるように心がけること。
- (11) 今大会の結果、団体戦優勝校と個人戦男子上位8ペア・女子上位6ペアに全国高校総体、団体戦上位2校と個人戦男女上位10ペアに東北高校選手権大会への出場権を与える。